

北部コミュニティセンター改修工事

図面リスト			
機 械			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
M-00	表紙・図面リスト		
M-01	機械設備 特記仕様書（１）	M-26	体育館 空調設備 １階平面図②（改修）
M-02	機械設備 特記仕様書（２）	M-27	空調設備 断面詳細図（改修）
M-03	機械設備 特記仕様書（３）	M-28	体育館 空調換気設備１階平面図（撤去・改修）
M-04	機械設備 特記仕様書（４）	M-29	体育館 衛生器具リスト（撤去・改修）
M-05	配置図・付近見取図	M-30	体育館 衛生設備１階便所平面図（撤去・改修）
M-06	空調換気設備 機器リスト（撤去・改修）		
M-07	空調換気設備 １階平面図（改修）		
M-08	空調換気設備 ２階平面図（改修）		
M-09	空調換気設備 １階平面図（撤去）		
M-10	空調換気設備 ２階平面図（撤去）		
M-11	空調換気設備 R階平面図（改修）		
M-12	衛生設備機器表（撤去・改修）		
M-13	衛生設備系統図（撤去・改修）		
M-14	衛生設備 配置図（改修）		
M-15	衛生設備 配置図（撤去）		
M-16	受水槽廻り詳細図（改修）		
M-17	衛生設備 １階平面図（改修）		
M-18	衛生設備 ２階平面図（改修）		
M-19	衛生設備 ２階平面図（撤去）		
M-20	衛生設備１階便所平面図（撤去・改修）		
M-21	衛生設備２階便所平面図（撤去・改修）		
M-22	衛生設備R階平面図（改修）		
M-23	衛生設備 R階平面図（撤去）		
M-24	体育館 空調機器リスト（撤去・改修）		
M-25	体育館 空調設備 １階平面図①（改修）		

[illegible]

共	●継手	管端コア付鋼管を除く塩化ビニルライニング鋼管、耐熱性塩化ビニルライニング鋼管及びポリ粉体鋼管で、ねじ接合する場合の継手は管端防食継手とし、パイプニップルは管端防食継手用パイプニップルとする。 呼び径60S以下の一般配管用ステンレス鋼管 ○ プレス式 ○ 拡管式 ○ (2.2.1.2)																				
	●一般用弁の耐圧	図面に明記なき一般用弁の耐圧は、下記による。 水道直結配管に使用する弁は、JIS又はJV 0.98MPa(10K)弁とする。 その他配管に使用する弁は、※JIS又はJV 0.49MPa(5K)弁 ○JIS又はJV 0.98MPa(10K)弁																				
	○鋼管用伸縮管継手	※ベローズ形 ○スリーブ形 (2.2.2.7)																				
	●異種管の接合及絶縁継手	●異種管の接合要領 ※標準図(施工3) ○図示(図面番号) ○機器接続部の金属材料と配管材料のイオン化傾向が大きく異なる場合(銅とステンレス、銅と鉄)は、絶縁継手を使用し、設置箇所及び絶縁継手の仕様は図示による。 (図面番号) (2.2.12)(2.2.4.1)<2.2.2.1>																				
	○量水器	○直読式 ○遠隔式 (2.2.2.16)																				
	○緊急遮断弁装置	駆動方式 ○電気式 ○機械式 (2.2.2.22)																				
	○水栓柱	本体 ※合成樹脂製 ○7mm以下合金製 ○ステンレス製 ○人造石とぎ出し製 寸法 ※約70mm×約70mm×約1,300mmH ○ (2.2.2.23)																				
	○不凍水栓柱の寸法	※全長約1,500mm ○ (2.2.2.24)																				
	●スリーブ	(1) 外壁の地中部分等水密を要する部分のスリーブ ※つば付鋼管 ○ (2) 地中部分で水密を要しない部分のスリーブ ※ビニル管(VU) ○ (3) 柱及び梁以外の箇所では、開口補強が不要であり、かつ、スリーブ径200mm以下の部分 ※紙製仮枠 (4) 上記以外の鋼管製スリーブ ※白管 ○ (2.2.2.27)<2.2.6.1>																				
	○瞬間流量計	○固定形 個 ○着脱可能形(測定用タイプ) 個、本体 個 (2.2.3.8)																				
通	○建物導入部配管	※不同沈下の恐れがない ○不同沈下の恐れがある 標準図(施工4)のフレキシブルジョイントを使用した方法で施工する。ただし、排水及び通気管を除く。 (2.2.4.1)<2.2.2.1><2.2.3.11>																				
	○空調機用ドラッグの形式	図示による。(図面番号) (2.2.4.8)<2.2.2.8>																				
	○ファンコイルの流量弁	○流量調整弁(図面番号) (2.2.4.2)<2.2.2.2>																				
	●管の接合	●ビニル管 (※接着接合 ○ゴム輪接合) ○ポリエチレン管 (○電気融着接合 ○熱融着接合) ○建物導入部において異種管との接続がある 接続部の点検枠の構造(○TC-1 ○TC-2) ○架橋ポリエチレン管 (○電気融着接合 ○熱融着接合) ○ポリブチレン管 (○熱融着接合 ○電気融着接合 ○熱融着接合) ●耐火二層管 (※接着接合 ○ゴム輪接合) (伸縮継手の設置箇所は図示による(図示番号)) (2.2.5.9)<2.2.3.10> (2.2.5.10)<2.2.3.11> (2.2.5.11)<2.2.3.12> (2.2.5.12)<2.2.3.13> (2.2.5.14)<2.2.3.15>																				
	○溶接部の非破壊検査	※実施しない ○実施する(○放射線透過検査 ○浸透探傷検査又は磁粉探傷検査) 判定基準 抜取率は下記による。 (2.2.5.15)<2.2.3.16>																				
		<table><tr><th rowspan="2">溶接部の種類</th><th>種 別</th><th colspan="2">蒸気配管</th><th rowspan="2">冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管</th></tr><tr><th>検査の種類</th><th>1.0MPa未満</th><th>1.0MPa以上</th></tr><tr><td>突合せ溶接部</td><td>放射線透過検査(RT) 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)</td><td>※ 5 %</td><td>※ 10 %</td><td>※ 5 %</td></tr><tr><td>すみ肉溶接部</td><td>浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)</td><td>○ (%)</td><td>○ (%)</td><td>○ (%)</td></tr></table>			溶接部の種類	種 別	蒸気配管		冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管	検査の種類	1.0MPa未満	1.0MPa以上	突合せ溶接部	放射線透過検査(RT) 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)	※ 5 %	※ 10 %	※ 5 %	すみ肉溶接部	浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)	○ (%)	○ (%)	○ (%)
	溶接部の種類	種 別	蒸気配管			冷却水、冷温水、消火(水用)及び油配管																
		検査の種類	1.0MPa未満	1.0MPa以上																		
	突合せ溶接部	放射線透過検査(RT) 浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(PT又はMT)	※ 5 %	※ 10 %	※ 5 %																	
	すみ肉溶接部	浸透探傷検査又は磁粉探傷検査(RT又はMT)	○ (%)	○ (%)	○ (%)																	
	工場溶接部については適用された抜取率の1/5としてもよい。																					
項	●配管・ダクトの吊り及び支持	(1) 土間埋設配管の吊りはビッド内(材質はステンレス鋼製)に準じる。 (2) 鋼管、鋳鉄管及びステンレス鋼管の配管呼び径40以下、ポリエチレン管、ポリブチレン管及び銅管の呼び径20以下の管の形鋼振止め支持は、 ※不要 ●要(支持間隔は図示による。(図面番号)) (2.2.6.3)<2.2.4.3> (3) 吊り及び支持は、標準図(施工13~17)による。																				
	●地中埋設管の埋戻土	コンクリート管以外の管を地中埋設とする場合は、管及び被覆樹脂を傷めぬよう山砂の類で管の周囲を埋戻した後、掘削土の良質土で埋戻す。 (2.2.7.1)<2.2.5.1>																				
	●管の埋設深さ	(1) 一般敷地 ※300mm ○ (2) 構内車両通路 ※600mm ○ (2.2.7.2)<2.2.5.2>																				
	●地中埋設標及び埋設表示用テープ	(1) 給水管 地中埋設標(※要 ○不要) 埋設表示テープ(※要 ○不要) (2) 消火管 地中埋設標(※要 ○不要) 埋設表示テープ(※要 ○不要) (3) ガス管 地中埋設標(※要 ○不要) 埋設表示テープ(※要 ○不要) (4) 油 管 地中埋設標(※要 ○不要) 埋設表示テープ(※要 ○不要) (5) 地中埋設標の設置箇所は図示による。(図面番号) (6) 埋設給水本管の分岐、曲り部等の衝撃防護措置は図示による。 (図面番号) (7) 埋設表示テープの土被りは150mm程度とする。 (2.2.7.1)(6.2.2.3)<2.2.5.1><6.2.2.3>																				
	●防火区画貫通部の処理	標準図(施工1)による。 (2.2.8.1)<2.2.6.1>																				
	●保温	(1) 保温種別は、標準仕様書第2編表2.3.2及び表2.3.5による。ロックウール保温材、グラスウール保温材及びポリスチレンフォーム保温材が併記されている箇所は、どれを使用してもよい。ただし、給水管、排水管で、床下、暗渠内(ビッド内を含む)、屋外露出及び浴室、厨房等の多湿箇所(厨房の天井内は含まない)は、ポリスチレンフォーム保温材とする。 (2) 共同溝の保温種別は、図示による。(図面番号)																				

共	(3) 配管の保温外装は、次による。 【空調調和設備】(断熱材被覆銅管を含む) 屋内：隠蔽部(機械室等の露出配管、暗渠内を含む) ※不要 ●要 露出部 ※合成樹脂カバー1 ○合成樹脂カバー2 ○保温化粧ケース(塩化ビニル樹脂) 屋外：※ステンレス鋼板 ○溶融7%ニウム-亜鉛鉄板 ○カラー亜鉛鉄板 ○保温化粧ケース(○塩化ビニル樹脂 ○アルミ合金 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板) ○ステンレス鋼板) 保温化粧ケースの下部カバー ○要 ※不要 【給排水衛生設備】 屋内：隠蔽部(機械室等の露出配管、暗渠内を含む) ※不要 ●要 露出部 ※合成樹脂カバー1 ○合成樹脂カバー2 ○保温化粧ケース(塩化ビニル樹脂) 屋外：※ステンレス鋼板 ○溶融7%ニウム-亜鉛鉄板 ○カラー亜鉛鉄板 ○保温化粧ケース(○塩化ビニル樹脂 ○アルミ合金 ○溶融アルミニウム-亜鉛鉄板) ○ステンレス鋼板) 保温化粧ケースの下部カバー ○要 ※不要 (4) 鋼板製タンクの保温は ※行わない ○行う(蓋の部分は行わない) (5) 次のダクト等に保温を行う。 ○換気用ダクト ○外気取入れ用ダクト ○排気用ダクト ○空調している建物内の通りダクト ○屋内外露出排煙ダクト ●内貼りしたダクト及び内貼りしたチャンバー ●断熱材付フレキシブルダクト及びたわみ継手 ○屋外露出の煙道及び煙突 ○暗渠内のダクト ○厨房排気用ダクト (6) 次の管、弁、フランジ等に保温を行う。 ○放熱器廻り蒸気管及び温水管 ○蒸気還管 ○蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の各種装置廻りの配管 ○蒸気管及び温水管で、屋内及び暗渠内の弁、フランジ、伸縮管継手、防振継手、 フレキシブルジョイント等 ○冷凍機の冷却水管 ●ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント ●各種タンク類のオーバーフロー管及びドレン管 (冷水、冷温水タンクの第1バルブまでを除く) ○エア抜き以降の配管及び排泥井以降の配管等 ○油管 ○断熱材被覆銅管 ○衛生器具の附属品と見なされる器具及び配管 (流し下部の床上排水管を含む) ●給水管で、ポンプ廻りの防振継手、フレキシブルジョイント ○給水及び排水の地中又はコンクリート埋設配管 ●給湯管で、屋内及び暗渠内の弁、フランジ、伸縮管継手、防振継手、フレキシブルジョイント等 ○保温付被覆銅管 ○排水管で、暗渠内配管(ピット内を含む)、最下階の床下配管、屋外露出配管 及び耐火二層管 ○通気管(排水管の分岐点より100mm以下の部分を除く) ○消火管 ○厨房機器及びガス湯沸器廻りの給水、排水及び給湯管 (7) 寒冷地等での保温厚は、図示による。(図面番号) (8) 高圧(0.1MPa)以上の蒸気管及び蒸気ヘッダーの保温厚は、図示による。(図面番号) (9) ファンコイルユニット等のドレン管の保温は、給排水設備工事の排水管による。 (10) エアー抜き管の保温厚は20mmとし、仕様は当該配管の項に準ずる。 (11) 保温を施す空調用タンクの蓋の保温 ※要 ○不要 (12) 全熱交換形換気扇の給気ダクトの保温 ※要 ○不要 (13) 消火用充水タンクの保温 ※要 ○不要 (2.3.1.4)(2.3.1.5)(2.3.1.6)<2.3.1.3>
	●塗装 (1) 塗料を屋内で使用する場合は、放散量 ※F☆☆☆☆ ○ (2) 調査ペイント塗りの塗料 ※JIS K 5516(合成樹脂調査ペイント)の1種 ○ 7%ニウムペイント塗りの塗料 ※JIS K 5492(7%ニウムペイント)の1種 ○ (3) 電気設備における現場で行う塗装は、以下のとおりとする。(2.3.2.1) 塗装の色等は監督職員と協議する。(2.3.2.1) さび止め塗装が施された金属製ブルボックス等の機材 隠ぺい部 ※塗装しない 屋内外露出部 ○図示による(図面番号) ○塗装しない ○塗装する 屋外露出部 ○図示による(図面番号) ○塗装しない ○塗装する 亜鉛めっきが施された機材 隠ぺい部 ※塗装しない 屋内外露出部 ○図示による(図面番号) ○塗装しない ○塗装する 屋外露出部 ○図示による(図面番号) ○塗装しない ○塗装する
項	●工事用仮設物 構内につくことが ※できる ○できない
	●足場・さん橋類 ※別契約の関係受注者が定置したものは、無償で使用できる。 ※本工事で設ける場合は、標準仕様書第2編第4章第1節4.1.1又は、改修標準仕様書第1編第2章第2節2.1.1によるほか 足場の設置においては「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。なお単管足場、枠組足場を用いる場合の設置場所については図示による。(2.4.1.1)<1.2.2.1> 内部足場 ※A種、B種、C種、D種 ○E種(単管足場) ○F種(くさび式緊結足場) ○G種(枠組足場) 外部足場 ○A種(枠組足場) ○B種(くさび式緊結足場) ○C種(単管足場) ※D種、E種 ○F種(高所作業車)

共

通

事

項

○監督職員事務所
(総合会議室を含む)

○設ける(規模 ○10㎡程度 ○20㎡程度 ○30㎡程度 ○65㎡程度 ○100㎡程度)
仕上げる程度 (2.4.1.1)<1.2.3.1>

部 位	仕 様
床	※合板張り又はビニルシート張り ○
内壁・天井	※合板張り又は石膏ボード張り＋塗装 ○
屋根	※塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り又は鉄板張り＋塗装 ○

○監督職員事務所の位置は、図示による。(図面番号)

○監督職員事務所の
備品

監督職員事務所の備品等の種類及び数量は以下の表による (2.4.1.1)

備品の種類	机・椅子	書 棚	黒板又はホワイトボード	掛時計
数 量	組	台	個	個
備品の種類	ゴム長靴	雨がっぱ	安全帯	ヘルメット
数 量	足	着	個	個
備品の種類	懐中電灯	衣類ロッカー	冷暖房機器	加入電話機
数 量	個	人用	台	台
備品の種類	湯沸器	掃除具	パソコン	周辺機器
数 量	台	個	台	

その他事務所として通常必要な備品を備えること。

●土工事

●地中埋設管を除き、埋め戻し及び盛土は、
※根切り土の中の良質土を使用し、十分な締め固めを行う。
○山砂の類を使用し、十分な締め固めを行い、水締めを行う。
●残土処分
※公的な受入施設又は大阪府が建設発生土の受入施設として登録している民間受入施設に搬出
○構内指示の場所に置きならし (図面番号)

(2.4.2.1)<2.7.1.1>

●コンクリート工事

図面に明記なきコンクリート設計基準強度及びスランプは、下記による。(2.4.4.1)
設計基準強度 ※18N/㎡以上 ○
スランプ ※18cm以下 ○
少量(1㎡以内)の場合は、配合計算書により強度試験を省略することが出来る。(2.7.3.1)

●鋼材工事

鋼製架台、はしご等の機器付属金物及び配管、ダクトの支持金物の屋外部分は、ステン鋼製(SUS304)又は溶融亜鉛めっき(※2種35 ○2種50)とする。
ただし、ビツ内等多湿箇所の吊り及び支持金物はステン鋼製(SUS304)とする。
(2.4.6.2)<2.7.5.2>

●耐震施工

耐震措置の計算及び施工方法は次によるほか、建築設備耐震設計・施工指針2014年版(独立行政法人建築研究所監修)による。
(1)機器の据付け及び取付け
設計用水平地震力は、機器の質量(自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効質量)に、地域係数1.0及び次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度

機器種別	○特定の施設		※一般の施設	
	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階・ 屋上及び塔屋	機器	2.0	1.5	1.5
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0
	水槽類	2.0	1.5	1.0
中間階	機器	1.5	1.0	1.0
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.0
	水槽類	1.5	1.0	0.6
地階・1階	機器	1.0	0.6	0.6
	防振支持の機器	1.0	1.0	0.6
	水槽類	1.5	1.0	0.6

・上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。(3.2.1.1)<5.2.2.1>
・中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。(3.1.5.7)<4.2.3.1>
・重要機器は次のものを示す。(2.4.1.2)<3.2.1.1>
○給水機器()<4.2.3.1>
○排水機器()<5.2.1.2>
○換気機器 ○空調機器 ○熱源機器 ○防災設備
○監視制御設備 ○危険物貯蔵装置 ○火を使用する設備 ○避難経路上に設置する機器
(2)設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

●はつり

電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用すること。
既存のコンクリート床、壁等配管貫通部の穴開けは、原則としてパイロットを使用する。なお、復旧はパイロット又はワッフルを充てて行う(建築基準法令に適合させること)。
また、はつり作業に先立ち、石綿含有仕上げ塗材がある箇所の配管貫通部等は、関係法令の作業基準に従い、除去する石綿含有仕上塗材を薬液等により湿潤し、手はつりによる除去を行う。
(2.4.1.1)<2.4.1.3><2.4.1.6>

●容量等の表示

機器類の能力、容量等は表示された数値以上とする。
ただし、電動機の出、燃料消費量及び圧力損失は表示された数値以下とする。

●防火区画

○平面階 ○図示(図面番号) ○

○掲示板

機械室に操作順序、注意事項、連絡先及び系統図等を描いた掲示板を設ける。

○マンホール、蓋類

※用途入りとする。 ○県名入りとする。

●取替機器

機器を取り替えた場合、取替日、受注者、施工者名及び能力を記した銘板を取付ける。

 KENSOKEEN CO., LTD. Synthetic Architec & Associates	訂正	月 日 訂正者 訂正内容							コード No.	作成年月日	承 諾	名 称		図面 No. M-02	
		.	.	.	.	.	.	.	.	F D No.	- . - .				北部コミュニティセンター改修工事
		.	.	.	.	.	.	.	.	発行年月日	担 当	図面名称			縮 尺
		.	.	.	.	.	.	.	.	- . - .		機械設備 特記仕様書 (2)			NON

令和 4 年版			V e r . 1 . 0											
給 水 設 備	●配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 一般配管 ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (SGP-VA, SGP-FVA) ○ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (SGP-PA, SGP-FPA) ○ステンレス鋼管 (SUS304) (継手) ●水道用硬質塩化ビニル管 (HIVP) ○架橋ポリエチレン管 ○ポリブデン管 (2) 地中配管 ○硬質塩化ビニルライニング鋼管 (内外面ライニング) (SGP-VD, SGP-FVD) (○屋内 ○屋外) ○ポリエチレン粉末ライニング鋼管 (内外面ライニング) (SGP-PD, SGP-FPD) (○屋内 ○屋外) ○水道用硬質塩化ビニル管 (HIVP) (●屋内 ○屋外) ○水道配水用ポリエチレン管 (※屋外) ○												
	●ポンプ類	○揚水用ポンプ (5.1.2.1) (5.1.2.2) 共通ベースの材質、フート弁の呼び径等図示による。 (図面番号) ●小型給水ポンプユニット (5.1.2.3) 運転方式、制御方式、24時間強制ローテーション機能、フート弁の呼び径等図示による。 (図面番号) ○深井戸用水中モーターポンプ (5.1.2.5) 揚水管の材質、低水位用電極 (停止及び復帰用) 及び制御ケーブルの長さ等図示による。 (図面番号)												
	●タンク	(1) 形式 (2.2.4.7) (5.1.4.2) ○FRP製パネルタンク (※複合板形 ○単板形) ●ステンレス鋼板製パネルタンク (外部保温 ●あり ○なし) ○鋼板製一体形タンク (2) 仕様 タンク本体給水栓用配管接続口 ○設ける ○設けない 各接続管フレキシブルジョイント ○ベローズ形 ○合成ゴム製 気相部の水位レベルは図示による。 (図面番号)												
	●排水方式	汚水と雑排水 屋内 ●分流式 ○合流式 汚水・雑排水と雨水 屋外 ●分流式 ○合流式 ポンプ排水 ○あり (○汚水 ○雑排水 ○雨水 ○湧水 ○浄化槽二次側) ※なし												
排	●放流先	(1) 汚水 ●直放流下水管 ○浄化槽 (2) 雑排水 ●直放流下水管 ○浄化槽 ○別途樹 (工事)												
	○負担金	※不要 ○要 (○本工事 ○別途工事) 名称:												
水 設 備	●配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 汚水・雑排水管 ●水道用硬質塩化ビニル管 (VP) (●屋内 ●屋外) ○建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル (RF-VP) (○屋内 ○屋外) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (D-VA) (○屋内 ○屋外) ●耐火二層管 (国土交通大臣認定品) (●屋内 ○屋外) ○ (2) 通気管 ●水道用硬質塩化ビニル管 (VP) ○建物排水用リサイクル発泡三層硬質塩化ビニル管 (RF-VP) ○排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (D-VA) ○配管用炭素鋼鋼管 (白管) ○耐火二層管 (国土交通大臣認定品) ○ (3) 流し等の床上露出部分の配管は、硬質塩化ビニル管 (RF-VP) でもよい。												
	○汚水、雑排水及び汚物用水中モーターポンプ	ケーシング、羽根車の材質、電動機の型式、着脱装置等は図示による。 (図面番号) 汚物用水中モーターポンプの極数は図示による。 (図面番号) ストレーナ、水中ケーブルの長さは図示による。 (図面番号)												
給 湯	○グリース阻集器	※ステンレス鋼板製 (SUS304) ○強化プラスチック製 (FRP) (5.1.7.8)												
	○満水試験継手	※要 (取付箇所は図示による。 (図面番号)) ○不要 (2.2.4.8)												
給 湯 設 備	●給湯方式	○中央式 ●局所式												
	●配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 一般配管 ●ステンレス鋼管 (SUS304) (継手) ○鋼管 (壁又は床埋設をする場合は、保温付被覆鋼管を使用してもよい。) ○耐熱性ライニング鋼管 (SGP-HVA, SGP-H-FVA, SGP-H-FCA) ○ポリブデン管 ○架橋ポリエチレン管												
	●ガス湯沸器	※瞬間式 ○貯湯式 (図面番号) (5.1.3.6)												
	○潜熱回収型給湯器	給湯熱効率 (※90%以上 ○ %以上) (図面番号) (5.1.3.7)												
備	●貯湯式電気温水器	節電機能等は図示による。 (図面番号) (5.1.3.8)												
	○ヒートポンプ給湯機	タンク容量等は図示による。 (図面番号) (5.1.3.9)												
	●排気筒	排気筒を外気に開放する場合の頂部形状は図示による。 (図面番号) (5.1.3.10)												
	○貯湯タンク	材質、電気防食の方式等図示による。 (図面番号) (5.1.4.3)												
消 火 設 備	○消火設備の種類	○屋内消火栓 ○連絡送水管 ○屋外消火栓 ○スプリンクラー ○泡消火 ○粉末消火 ○不活性ガス消火 ○連絡散水 ○フード等用簡易自動消火 ○ハロゲン化物消火 (5.1.5.2)~(5.1.5.11)												
	○配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 一般配管 ○配管用炭素鋼鋼管 (白管) ○圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370白管) (○Sch40 ○Sch80) ○ステンレス鋼管 (○一般配管用 ○配管用) (継手) (2) 地中配管 ※消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS) (○屋内 ○屋外) ○消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370VS 白管Sch40) (○屋内 ○屋外)												
消 火 設 備	○消火ポンプユニット	フート弁の呼び径等図示による。 (図面番号) (5.1.2.8)												
	○消火用水タンク	本体の材質等図示による。 (図面番号) (5.1.2.8)												
給 水 設 備	○連絡送水管	送水口の型式及び放水口の口径、材質は図示による。 (図面番号) (5.1.5.3)												
	○屋外消火栓	屋外消火栓箱 ※鋼板製 (1.6mm以上) ○ステンレス鋼板製 (1.5mm以上) (5.1.5.4) 消火栓開閉弁の材質 ○地上式 (○鑄鉄製 (要部青銅製) ○ステンレス鋳物製) ○組込式 (青銅製又はステンレス鋳物製)												
ス プリ ン ク ラ ー	○スプリンクラー	閉鎖型スプリンクラーヘッド (○湿式 ○乾式 ○予作動式) (5.1.5.5) スプリンクラー用送水口の型式及び材質は図示による。 (図面番号)												
	○泡消火	消火薬剤 (※水性膜泡消火薬剤 ○合成界面活性剤泡消火薬剤) (5.1.5.8) 感知用ヘッドの形式は図示による。 (図面番号)												
消 火 設 備	○連絡散水	散水ヘッドの形式は図示による。 (図面番号) (5.1.5.10) 送水口の型式及び材質は図示による。 (図面番号)												
	○安全装置	安全装置の機能は図示による。 (5.1.6.1)												
機 器 の 固 定	○機器の固定	燃焼機器、加熱調理機器、高さが1.0mを超える機器及び図示による機器には、床又は壁にアンボルトで固定できるよう補強及び固定金具を備える。 (5.1.6.1) (図面番号) (5.2.2.6)												
	○流し	化粧板の有無、流しトラップの材質等図示による。 (図面番号) (5.1.6.4)												
作 業 台 等	○作業台 (調理台、脇台、盛付台等)	すこの引出し、戸棚等の有無等図示による。 (図面番号) (5.1.6.4)												
	○ガステーブル	甲板の厚さ、材質及びすこの有無等図示による。 (図面番号) (5.1.6.5)												
電 気 装 置	○電気ケーブル	すこの有無等図示による。 (図面番号) (5.1.6.5)												
	○換気器・炊飯器・洗物器・煮炊釜・食器洗浄機	加熱方式は、図示による (図面番号) (5.1.6.5)												
ガ ス	●ガスの種類	●都市ガス 発熱量 MJ/Nm3 ガス事業者名: 施工要領は、ガス事業者が定めるものに準じる。 ○液化石油ガス (※50kg ○20kg)												
	●配管材料	図面に明記なき配管材料は、下記による。 (1) 一般配管 ※配管用炭素鋼鋼管 (白管) ○圧力配管用炭素鋼鋼管 ○鋼管 (2) 地中配管 ※ガス用ポリエチレン管 (○屋内 ○屋外) ○合成樹脂被覆鋼管 (○屋内 ○屋外)												
ガ ス 漏 れ 警 報 器	○ガス漏れ警報器	※別途工事 () ○本工事 (外部出力端子 ※なし ○あり) (6.2.1.3)												
	○ガスメーター	計量方式 (○実測式 ○パルス式)												
防 火 処 置	○防火処置	地中埋設管に電気防食を施す場合は図示による。 (図面番号) (6.2.2.5)												
	○液化石油ガス用鋼管の溶接接合	溶接部の非破壊検査 (6.3.2.2) (6.2.3.2) ※実施しない ○実施する (○放射線透過検査 ○浸透探傷検査又は粉体探傷検査) 抜取率 %												
地 中 埋 設 管 の 接 合 方 法	○地中埋設管の接合方法	※PE管工法 ○SGM工法 ○ネジ工法												
	○ビッド内施工方法	※合成樹脂被覆鋼管による ○												
負 担 金	○負担金	※不要 ○要 (○本工事 ○別途工事) 名称:												
	○形式	※ユニット形 ○現場施工形 (8.1.1.1)												
処 理 種 別	○処理種別	○小規模合併処理 ○合併処理 (8.1.1.1)												
	○汚泥引抜き清掃消毒	※別途工事 ○本工事												
現 場 施 工 型	○現場施工型	送風機室 (○本工事 ○別途工事) (8.1.1.2)~(8.2.2.2) 防護さく (○本工事 ○別途工事) コンクリート躯体工事 (土工を含む) (○本工事 ○別途工事) 換気用送風機 ○遠心送風機 ○軸流及び斜流送風機 ○壁掛式有圧換気扇 (フード付) ○天井式有圧換気扇 制御盤 ○漏電、過負荷、満水警報等の一括故障表示用無電圧接点及び端子を設ける。 消泡装置 (○メゾル式 ○消泡剤式) 消毒装置 (○固形塩素剤消毒装置 ○次亜塩素酸ソーダ消毒装置 ○マンホール ※標準図 (機材1) によるマンホールふた (水封式) (錠又は回転ロック付) 管材及び弁類は図示による。 (図面番号) 土留め等は図示による。 (図面番号)												
	○ユニット型	基礎等の厚さ等図示による。 (図面番号) (8.3.2.1)												
撤 去 工 事	●撤去工事	(1) 引き渡しを要する配管、ダクト等の保温材は分離する。 (1.5.1.1) (2) ダクト及び配管等の支持金物、吊りボルト等は本工事にて撤去する。 (3) 撤去後の補修は、原則として現状復旧とする。 (1.4.2.4)												
	共通事項	○石綿作業主任者 適用する (9.1.2) ○特別管理産業廃棄物管理責任者 適用する (9.1.2)												
境 境 配 理 管 理 産 業 廃 棄 物 等 の 処 理 等	○施工計画調査	特別管理産業廃棄物等の調査は次による (適用範囲:) 使用状況調査 (製造所名、製造年、型式、種類、数量等) 処分条件調査 (収集運搬業者、処分業者、回収業者、産業廃棄物処理施設等) 調査結果報告書の提出 (5.1.2)												
	○分析調査	微量PCBの測定を行う (対象機器:) (5.4.1)												
改 修 工 事	○特別管理産業廃棄物の処理等	○特別管理産業廃棄物 (5.4.1) <table><tr><th>種 類</th><th>処 理 方 法</th></tr><tr><td>○廃石綿等</td><td>石綿含有建材の除去等による</td></tr><tr><td>○PCBを含む機器類</td><td>保管 (保管場所:) 保管容器は別図による。 (図面番号)</td></tr><tr><td>○PCB含有シーリング</td><td>保管 (保管場所:)</td></tr><tr><td>○廃油</td><td>○中間処理施設再生処理 ○焼却処分</td></tr><tr><td>○廃酸／廃アルカリ</td><td>製造業者又は専門業者 (回収委託) ○中間処理施設再生処理 ○中和処理 ○焼却処分</td></tr></table>	種 類	処 理 方 法	○廃石綿等	石綿含有建材の除去等による	○PCBを含む機器類	保管 (保管場所:) 保管容器は別図による。 (図面番号)	○PCB含有シーリング	保管 (保管場所:)	○廃油	○中間処理施設再生処理 ○焼却処分	○廃酸／廃アルカリ	製造業者又は専門業者 (回収委託) ○中間処理施設再生処理 ○中和処理 ○焼却処分
	種 類	処 理 方 法												
○廃石綿等	石綿含有建材の除去等による													
○PCBを含む機器類	保管 (保管場所:) 保管容器は別図による。 (図面番号)													
○PCB含有シーリング	保管 (保管場所:)													
○廃油	○中間処理施設再生処理 ○焼却処分													
○廃酸／廃アルカリ	製造業者又は専門業者 (回収委託) ○中間処理施設再生処理 ○中和処理 ○焼却処分													

特別管理産業廃棄物の処理等	●特別管理産業廃棄物の処理等	別図による。 (図面番号)		
	○石綿含有建材の調査	調査 (石綿含有建材の有無)は監督職員、工事監理者、受注者立会のもと行う。 目視及び設計図書等による製造年等の確認 (1.5.1)		
石綿処理	○石綿含有建材の分析調査	分析方法 ○JIS A1481「建材製品中のアスベスト含有測定方法」による。 ※「建材中の石綿含有率の分析方法」(平成18年8月21日基発第0821002号、基安化発第0821001号及び平成20年2月6日基安化発第0206003号)による。 分析結果報告書を提出する (1.5.1) 除去工法 (9.1.3) (9.1.4) ○手ばらし ○破碎して除去 除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置 ※湿潤化 ○固形化 保管場所 () 除去した石綿含有保温材等の処分 ○埋立処分 (管理型最終処分場) ○中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)		
	○石綿含有保温材等の除去及び処分	除去する石綿含有成形板の飛散防止措置 (1.3.12) (9.1.5) ※湿潤化 除去工法 ※手ばらし ※けい酸カルシウム板第一種においては、作業場の隔離養生を行う。 保管場所 () 除去した石綿含有成形板等の処分 ※石綿含有せつこうボードは管理型最終処分場で埋立処分する。 ※上記以外 (○埋立処分 ○中間処理)		
修 工	○石綿含有成形板等の除去及び処分	除去する石綿含有成形板の飛散防止措置 (1.3.12) (9.1.5) ※湿潤化 除去工法 ※手ばらし ※けい酸カルシウム板第一種においては、作業場の隔離養生を行う。 保管場所 () 除去した石綿含有成形板等の処分 ※石綿含有せつこうボードは管理型最終処分場で埋立処分する。 ※上記以外 (○埋立処分 ○中間処理)		
	○手続き等	所轄の労働基準監督署及び奈良県景観・環境総合センター (奈良市内においては、奈良市保健・環境検査課)に必要な書類の届出を行うこと。また、その内容を周辺住民の見やすい場所に掲示すること。 (1.1.3) (9.1.2)		
事	○除去後の仕上げ	仕上げ表による (9.1.1)		
	○石綿含有材料リスト	○ () ○ () ○ () ○ ()		
改 修 工 事	(設備機材)・ボイラー (鋼製簡易ボイラー及び簡易貫流ボイラー、鑄鉄製ボイラー及び鑄鉄製簡易ボイラー、鋼製小型ボイラー及び小型貫流ボイラー、鋼製ボイラー) ・温水発生機 (真空式温水発生機 (鋼製・鑄鉄製)、無圧式温水発生機 (鋼製・鑄鉄製)) ・冷凍機 (チリングユニット及び空気熱源ヒートポンプユニット、吸収冷水機、吸収冷水機ユニット、遠心冷凍機) ・冷却塔 (冷却塔) ・空気調和機 (ユニット形空気調和機、ファンコイルユニット及びパッケージファンコイルユニット、コンパクト形空気調和機、パッケージ形空気調和機、マルチパッケージ形空気調和機、ガスエンジンヒートポンプ式空気調和機) ・空気清浄装置 (エアフィルター (バネ形、折込形)、自動巻取形エアフィルター、電気集じん器 (自動巻取形、バネ形)) ・全熱交換器 (全熱交換器 (回転形、静止形)、全熱交換ユニット) ・送風機類 (遠心送風機 (多翼形送風機)、斜流送風機、軸流送風機、消音ボックス付送風機) ・ポンプ類 (横形遠心ポンプ (空調用、ボイラー給水用、揚水用)、水中モーターポンプ (汚水用、雑排水用、汚物用)、立形遠心ポンプ (ボイラー給水用、揚水用)) ・ダクト付属品 (吹出口・吹出口、風量ユニット (定風量、変風量)) ・自動制御 (自動制御システム) ・衛生器具ユニット (衛生器具ユニット) ・タンク (FRP製パネルタンク、密閉形隔膜式膨張タンク (空調用・給湯用)、ステンレス鋼板製パネルタンク (溶接組立形)、ステンレス鋼板製パネルタンク (ボルト組立形)) ・消火装置 (スプリンクラー消火システム、不活性ガス消火システム、泡消火システム、ハロゲン化物消火システム) ・厨房機器 (厨房システム) ・鑄鉄製ふた (マンホールふた・弁井ふた)			
	設備機材等指定表			
機 材	機 材	製造者名	製造者名	製造者名
機 材				
機 材				



—守口市淀江町6番3号

配置図 1/200

換気機器リスト（撤去）

記号	名称	仕様	電源 60HZ		台数	設置場所	備考
			φ-V	KW			
F-3	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 510m3/h×50Pa 付属品 FD・ベントキップ 共	1-100	0.125	2	1・2階湯沸室	
F-4	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 380m3/h×50Pa 付属品 FD・ベントキップ 共	1-100	0.076	2	1階事務室 2階会議室	
F-5	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 120m3/h×50Pa 付属品 FD・ベントキップ 共	1-100	0.026	4	1階男・女便所 2階男・女便所	
F-6	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 160m3/h×50Pa 付属品 FD・ベントキップ 共	1-100	0.034	4	1階老人憩室 2階和室	
F-7	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 60m3/h×50Pa 付属品 FD・ベントキップ 共	1-100	0.025	3	1・2階身障者便所 1階印刷室	
F-8	中間ダクトファン	型式 低騒音形 風量 570m3/h×50Pa 付属品 吸込口、FD・ベントキップ 共	1-100	0.175	5	1階図書室 2階講義室	
F-9	標準換気扇	型式 低騒音形 風量 付属品 ユニバーサル 共	1-100		3	2階調理実習室	FY-30AF5

換気機器リスト（改修）

記号	名称	仕様	電源 60HZ		台数	設置場所	備考
			φ-V	KW			
EF-1	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 300m3/h×80Pa 付属品 FD付深形フード・他付属品共	1-100	0.049	4	1・2階男子便所 1・2階女子便所	VD-20ZB13 （三菱）
EF-2	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 100m3/h×40Pa 付属品 FD付深形フード・他付属品共	1-100	0.0155	4	1・2階多目的便所 1階 印刷室 2階倉庫	VD13Z13 （三菱）
EF-3	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 200m3/h×80Pa 付属品 FD付深形フード・他付属品共	1-100	0.035	2	1・2階給湯室	VD18ZY13 （三菱）
EF-4	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 200m3/h×50Pa 付属品 FD・ベントキップ 共	1-100	0.0295	1	1階倉庫	VD18ZB13 （三菱）
EF-5	標準換気扇	型式 低騒音形 風量 900m3/h 付属品 ユニバーサル 共	1-100	0.040	3	2階調理実習室	EX-30EF9 （三菱）
HEX-1	全熱交換機	型式 天井埋込形 低騒音形 風量 750m3/h×200Pa 付属品 リモコン・吸込口・吹出口 リモコンは電気工事に支給取付は電気工事 他標準付属品一式 共	1-100	0.540	5	1階図書室 2階講義室 2階創作室 2階会議室 2階調理実習室	LGH-N80RXV2 （三菱）
HEX-2	全熱交換機	型式 天井埋込形 低騒音形 風量 250m3/h×150Pa 付属品 リモコン リモコンは電気工事に支給取付は電気工事 他標準付属品一式 共	1-100	0.185	3	2階和室1 1階事務室・和室1	LGH-N35CX2 （三菱）
HEX-3	全熱交換機	型式 天井埋込形 低騒音形 風量 150m3/h×100Pa 付属品 リモコン リモコンは電気工事に支給取付は電気工事 他標準付属品一式 共	1-100	0.080	4	2階和室2・3 1階キッチン・授乳室	LGH-N15CX2 （三菱）
HEX-4	全熱交換機	型式 天井埋込形 低騒音形 風量 150m3/h×100Pa 付属品 リモコン リモコンは電気工事に支給取付は電気工事 他標準付属品一式 共	1-100	0.128	1	1階和室2	LGH-N25CX2 （三菱）

機器リスト（既設） ＊パネル脱着

記号	名称	仕様	電源 60HZ		台数	設置場所	備考(参考品番)
			φ-V	KW			
ACP-1	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天カセ2方向形同時ワイド 冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)	2.6 0.09	1	1階 事務室 屋上（室外機）	CU-P112X4
ACP-2	ビル用VRF室外機	型式 低騒音形 冷房能力 28.0KW 暖房能力 33.5KW 付属品 防振架台	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)		1	屋上	
ACP-2- 1	ビル用VRF室内機	型式 天カセ2方向形 冷房能力 4.5KW 暖房能力 5.0KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)		6	1階 図書室	CS-P45L3U
ACP-3	空冷ヒートポンプエアコン	型式 壁掛形 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)	1.50 0.06	1	1階和室1 屋上（室外機）	CU-P80X4
ACP-4	空冷ヒートポンプエアコン	型式 壁掛形 冷房能力 5.0KW 暖房能力 5.6KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)	1.10 0.06	1	1階和室2 屋上（室外機）	
ACP-5	空冷ヒートポンプエアコン	型式 ダクト接続床置形 冷房能力 40.0KW 暖房能力 45.0KW	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)		1	2階 機械室 屋上（室外機）	CS-P400ASD46
ACP-6	空冷ヒートポンプエアコン	型式 壁掛形 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)	1.10 0.06	1	2階 和室1 屋上（室外機）	CU-P56X4
ACP-7	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天カセ2方向形同時ワイド 冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)	2.60 0.09×2	1	2階 料理実習室 屋上（室外機）	CU-P112X4
ACP-8	空冷ヒートポンプエアコン	型式 ダクト接続床置形 冷房能力 40.0KW 暖房能力 45.0KW	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)		1	1階 機械室 屋上（室外機）	CS-P400ASD46
ACP-9	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天カセ2方向形同時ワイド 冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)	2.60 0.09×2	1	2階 会議室 屋上（室外機）	CU-P112X4
ACP-10	空冷ヒートポンプエアコン	型式 天カセ2方向形同時ワイド 冷房能力 10.0KW 暖房能力 11.2KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (FAN内) (FAN外)	2.60 0.09×2	1	2階 創作室 屋上（室外機）	CU-P112X4
ACP-11	空冷ヒートポンプエアコン	型式 壁掛形 冷房能力 5.6KW 暖房能力 6.3KW 付属品 ワイヤードリモコン	3-200 (COMP) (FAN内) (FAN外)	1.10 0.06	1	2階 和室2 屋上（室外機）	CU-P56X4

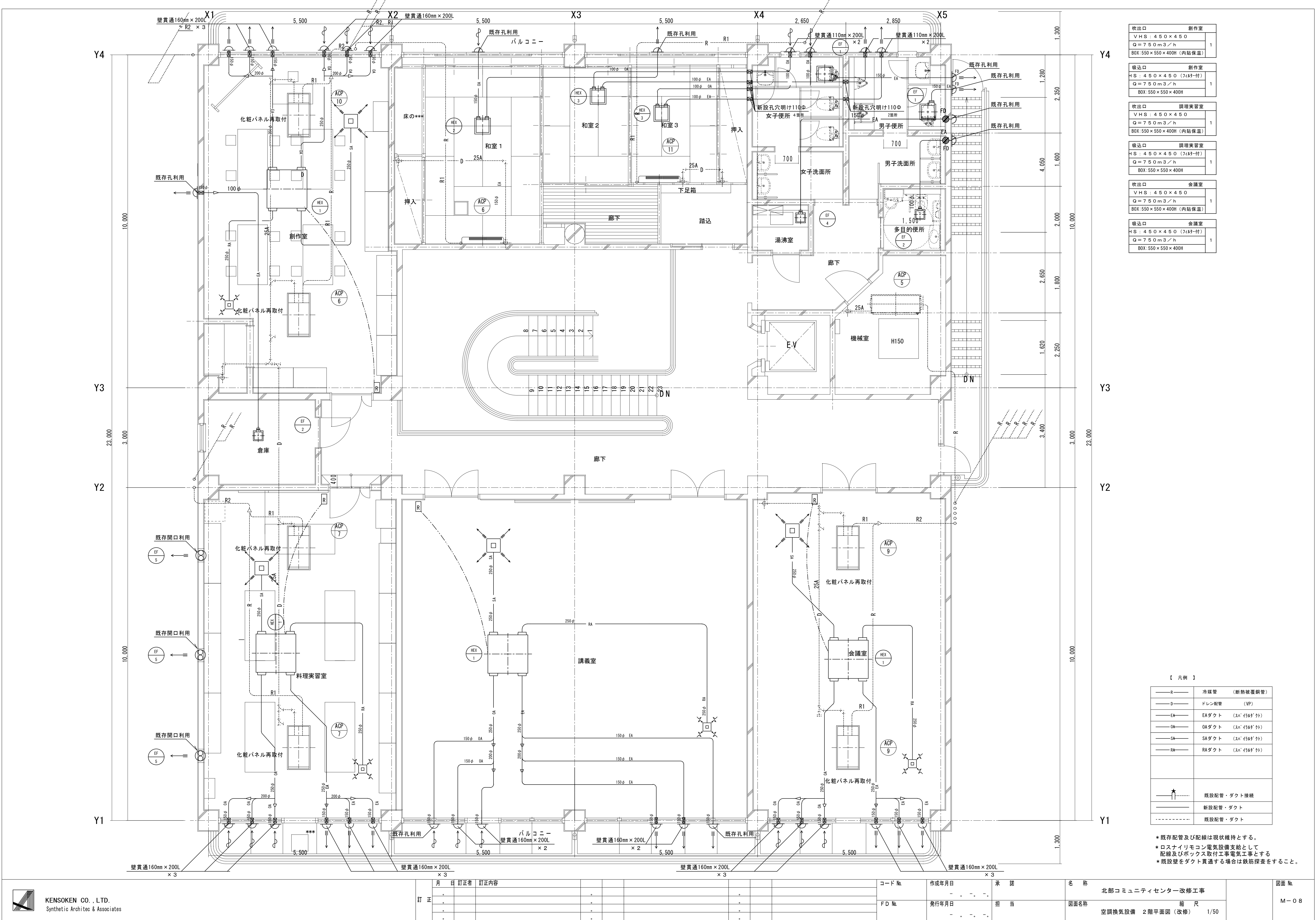




【 凡 例 】		
——R——	冷媒管	(断熱被覆銅管)
——D——	ドレン配管	(VP)
——EA——	EAダクト	(2x6" 150kg/kt)
——OA——	OAダクト	(2x6" 150kg/kt)
——SA——	SAダクト	(2x6" 150kg/kt)
——RA——	RAダクト	(2x6" 150kg/kt)
	既設配管・ダクト接続	
——	新設配管・ダクト	
-----	既設配管・ダクト	

記号	冷媒サイズ (参考)	共巻連絡配線 (参考)
R1	6.4 × 12.7	CV 2-3C
R2	9.5 × 15.9	CV 2-3C
R3	9.5 × 19.1	CV 2-3C
R4	9.5 × 22.2	CV 2-3C
R5	12.7 × 28.6	CV 2-3C

- * 既存配管及び配線は現状維持とする。
- * ロスナイリモコン電気設備支給として
配線及びボックス取付工事電気工事とする
- * 既設壁をダクト貫通する場合は鉄筋探索をすること。



吹出口	創作室
VHS: 450×450	
Q=750m3/h	1
BOX: 550×550×400H (内貼保温)	

吸込口	創作室
HS: 450×450 (718付)	
Q=750m3/h	1
BOX: 550×550×400H	

吹出口	調理実習室
VHS: 450×450	
Q=750m3/h	1
BOX: 550×550×400H (内貼保温)	

吸込口	調理実習室
HS: 450×450 (718付)	
Q=750m3/h	1
BOX: 550×550×400H	

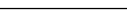
吹出口	会議室
VHS: 450×450	
Q=750m3/h	1
BOX: 550×550×400H (内貼保温)	

吸込口	会議室
HS: 450×450 (718付)	
Q=750m3/h	1
BOX: 550×550×400H	

【 凡例 】	
	冷媒管 (断熱被覆銅管)
	ドレン配管 (VP)
	EAダクト (2x1' 158' 9' 9' 9')
	OAダクト (2x1' 158' 9' 9' 9')
	SAダクト (2x1' 158' 9' 9' 9')
	RAダクト (2x1' 158' 9' 9' 9')
	既設配管・ダクト接続
	新設配管・ダクト
	既設配管・ダクト

* 既設配管及び配線は現状維持とする。
* ロスナイリモコン電気設備支給として
配線及びボックス取付工事電気工事とする
* 既設壁をダクト貫通する場合は鉄筋探査をすること。



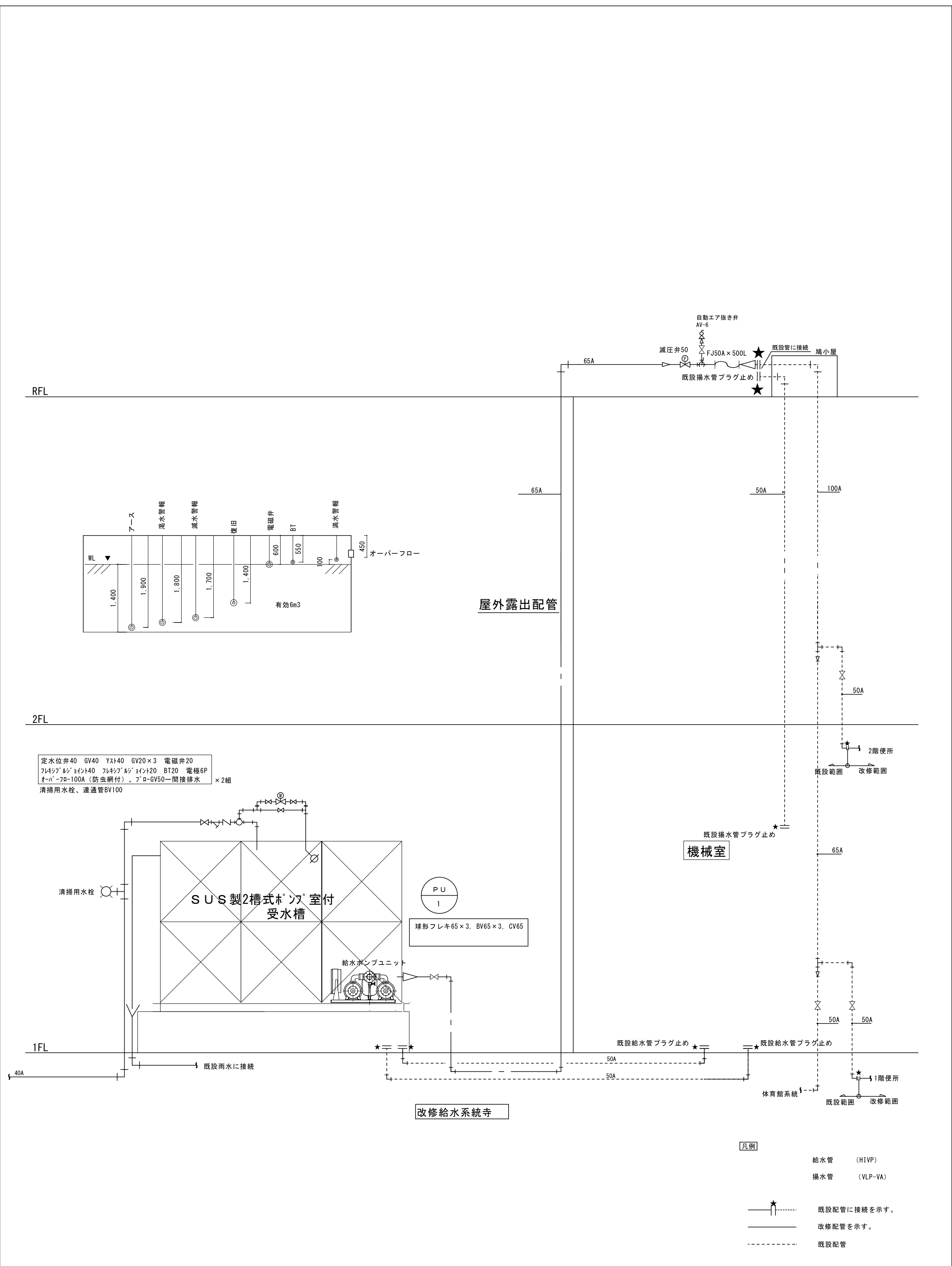
【 凡 例 】	
——R——	冷媒管 (断熱被覆銅管)
——D——	ドレン配管 (VP)
——EA——	EAダクト (2xN 458° 外)
——OA——	OAダクト (2xN 458° 外)
——SA——	SAダクト (2xN 458° 外)
——RA——	RAダクト (2xN 458° 外)
	撤去機器を示す。
	既設配管切断
	撤去配管

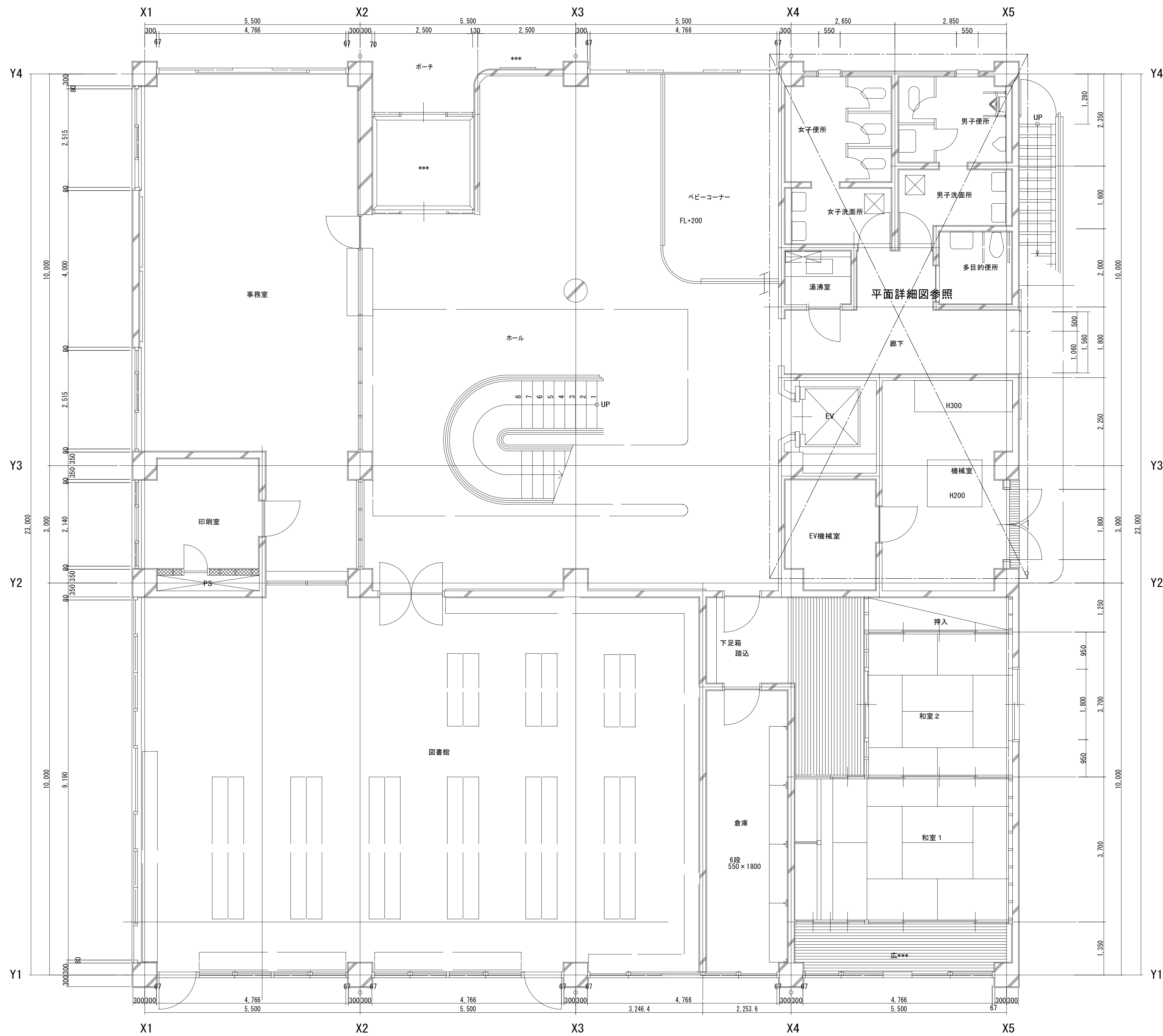




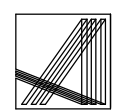
記号	冷媒サイズ (参考)	共巻連絡配線 (参考)
R1	6.4 × 12.7	CV 2-3C
R2	9.5 × 15.9	CV 2-3C
R3	9.5 × 19.1	CV 2-3C
R4	9.5 × 22.2	CV 2-3C
R5	12.7 × 28.6	CV 2-3C

コード No.	作成年月日 - - - -	承諾	名 称 北部コミュニティセンター改修工事	図面 No. M - 11
FD No.	発行年月日 - - - -	担 当	図面名称 空調換気設備 R 階平面図 (改修) 縮 尺 1/50	



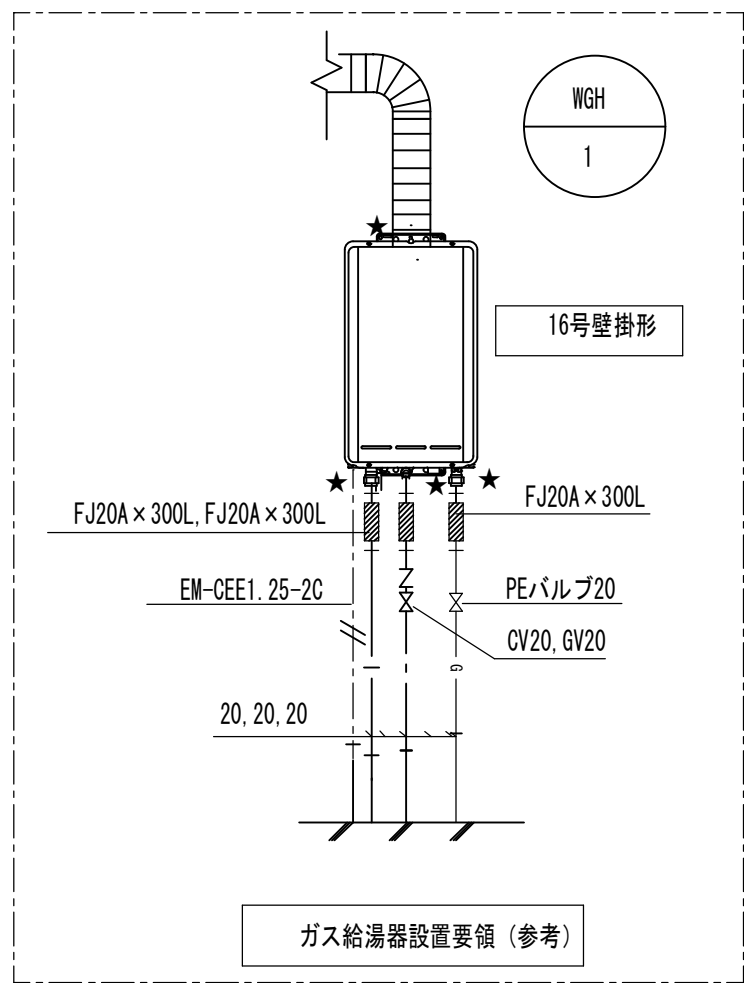
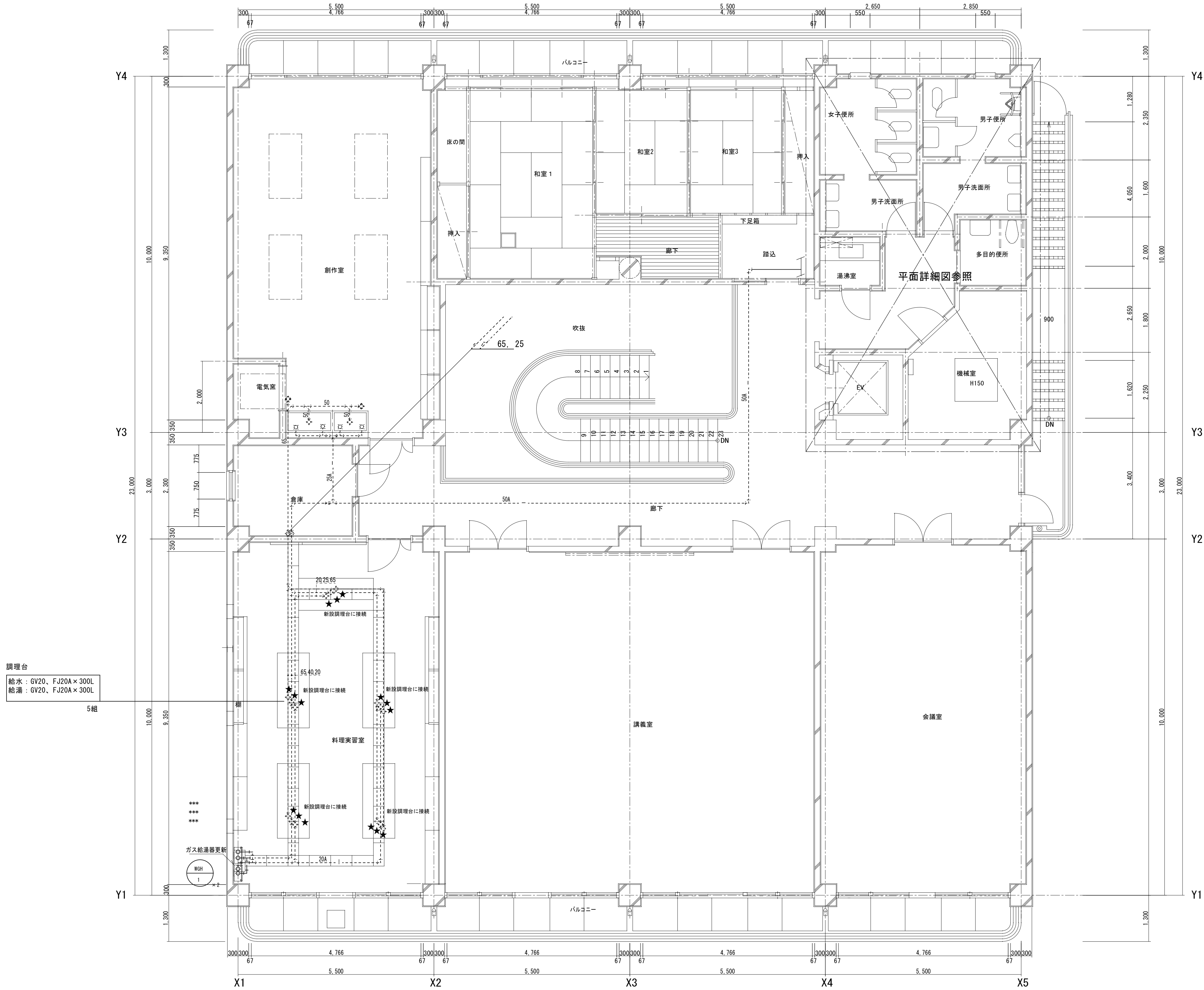


【 凡例 】	
	給水管 (HIVP)
	排水管 (HIVP)
	汚水管 (VP)
	雑排水管 (VP)
	通気管 (VP)
	ガス配管 (SGP白)
	既設配管接続
	既設管



KENSOKEN CO., LTD.
Synthetic Architec & Associates

訂正	月 日 訂正者 訂正内容		コード No.		作成年月日		承諾		名 称		図面 No.
									北部コミュニティセンター改修工事		
									図面名称	縮 尺	M-17
									衛生設備 1階平面図 (改修)	1/60	



【 凡例 】

---	給水管 (H1VP)
---	排水管 (H1VP)
---	汚水管 (VP)
---	(2階以上耐火二層管)
---	雑排水管 (VP)
---	(2階以上耐火二層管)
---	通気管 (VP)
---	ガス配管 (SGP白)

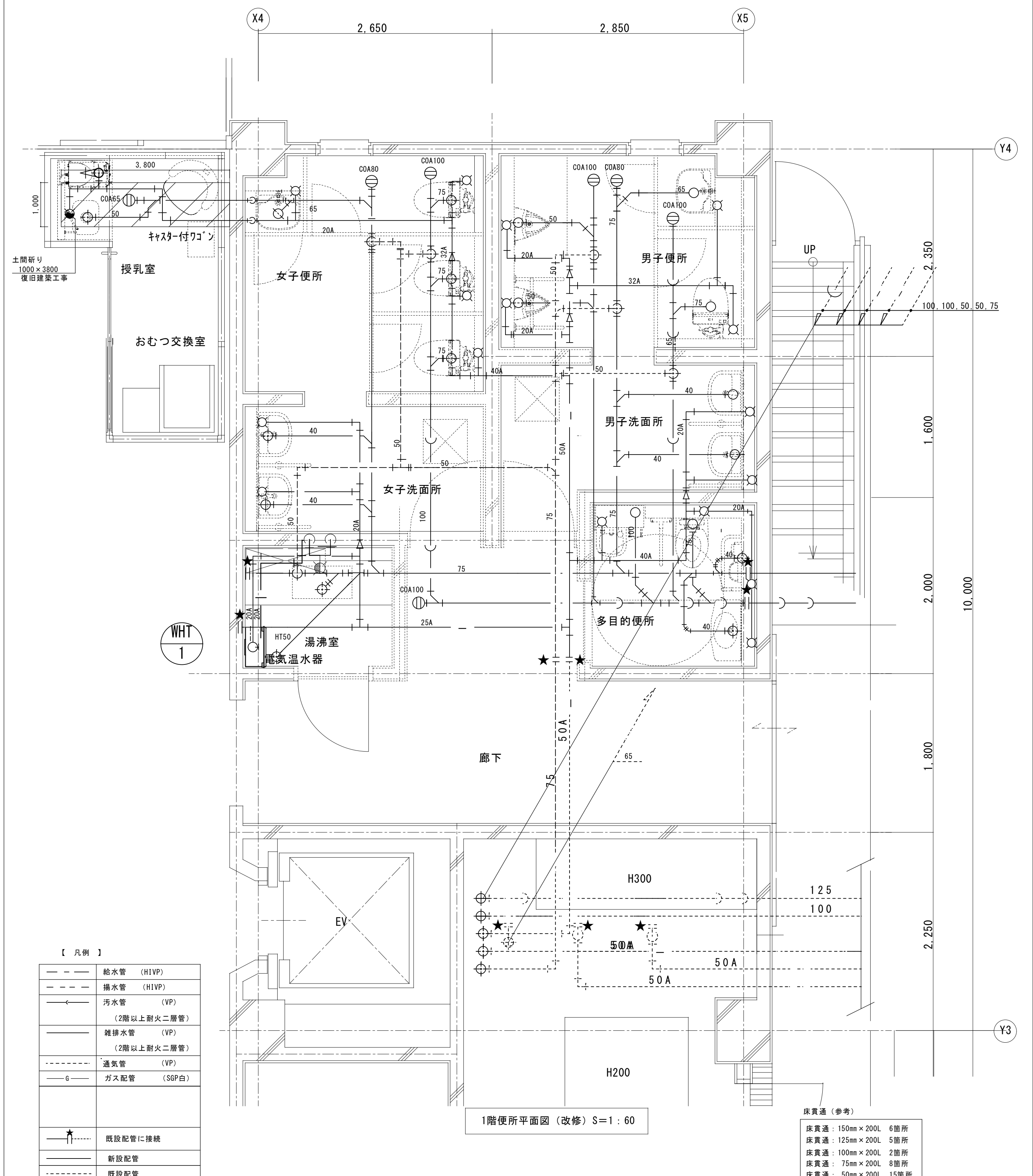
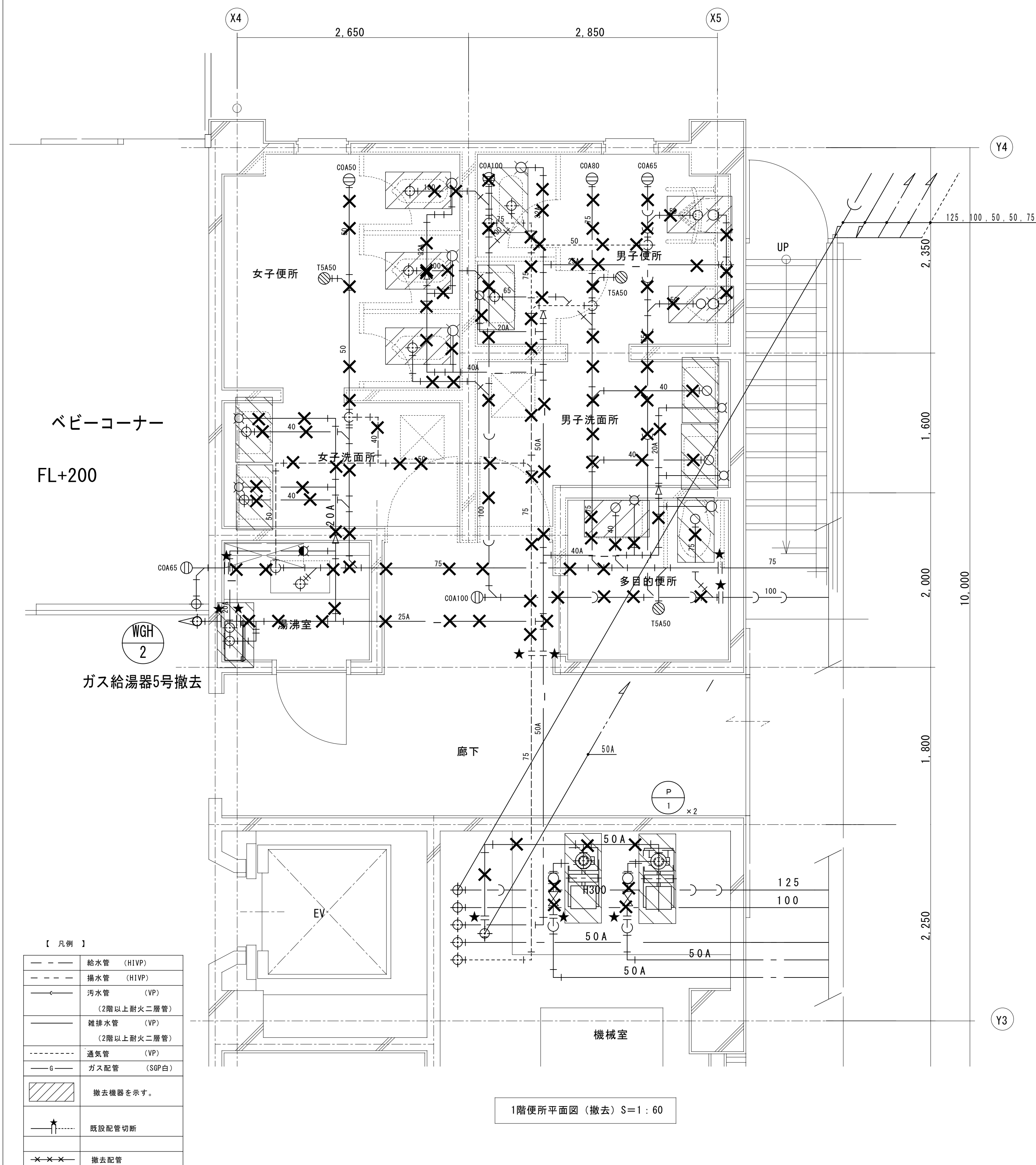
---	既設配管接続
---	既設管

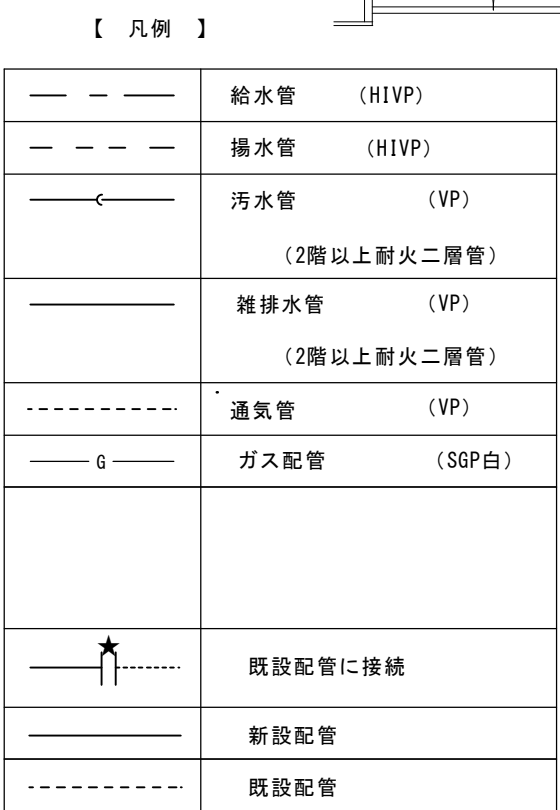
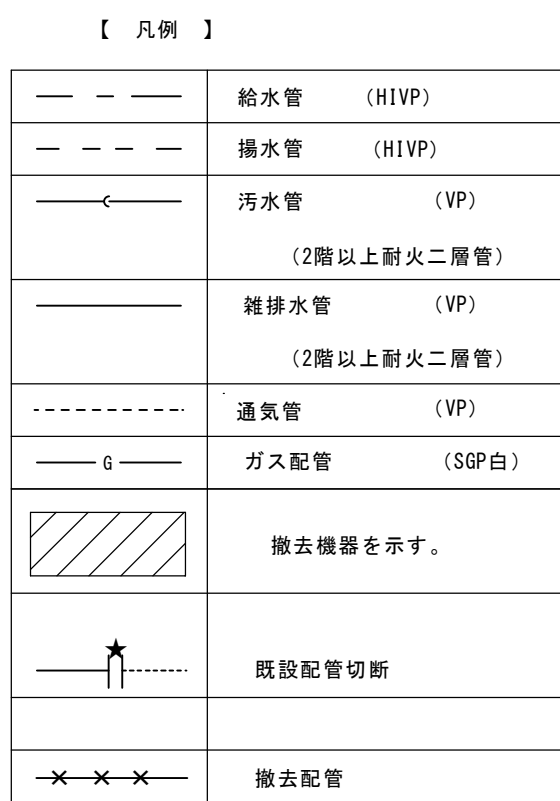


KENSOKEN CO., LTD.
Synthetic Architec & Associates

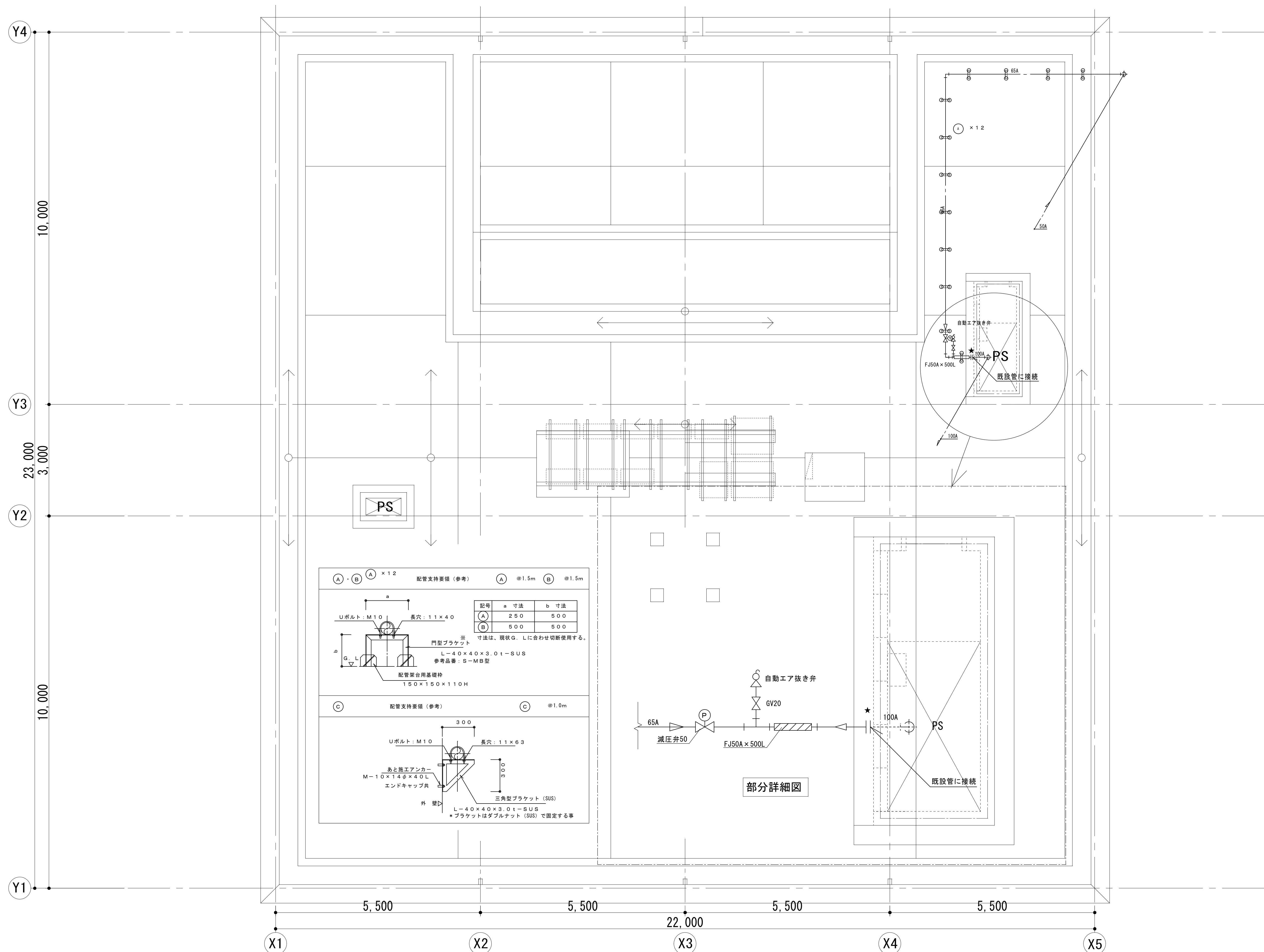
訂正	月	日	訂正者	訂正内容	コード No.	作成年月日	承諾	名称	縮尺	図面 No.
	.	.	.	.		-	-	北部コミュニティセンター改修工事		
	.	.	.	.		発行年月日	担当	衛生設備 2階平面図 (改修)		
	.	.	.	.		-	-	1/60		

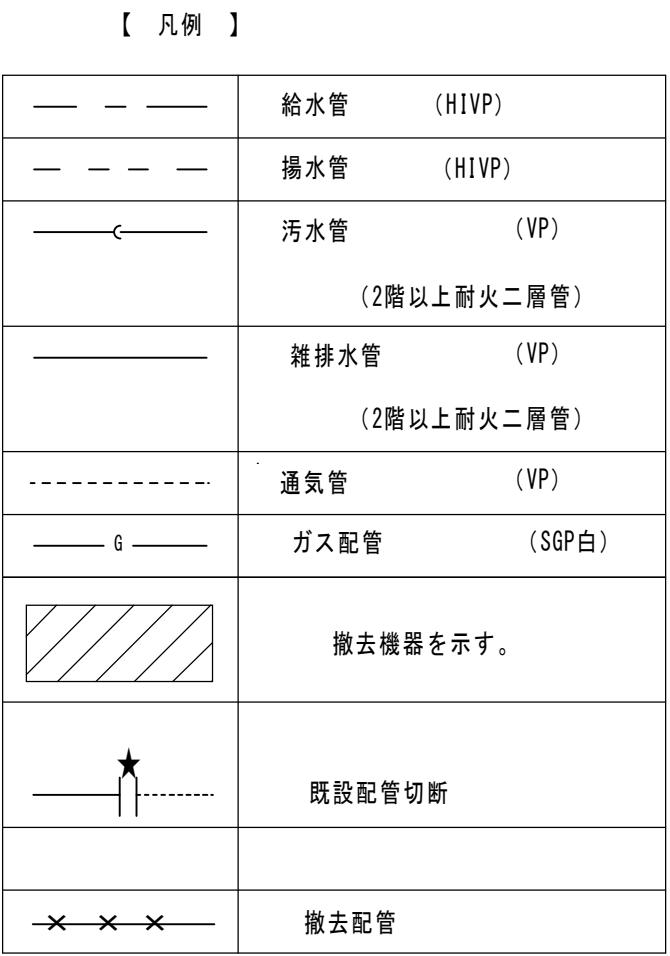
M-18





床貫通（参考）	
床貫通：150mm×200L	4箇所
床貫通：125mm×200L	6箇所
床貫通：100mm×200L	2箇所
床貫通：75mm×200L	8箇所
床貫通：50mm×200L	15箇所

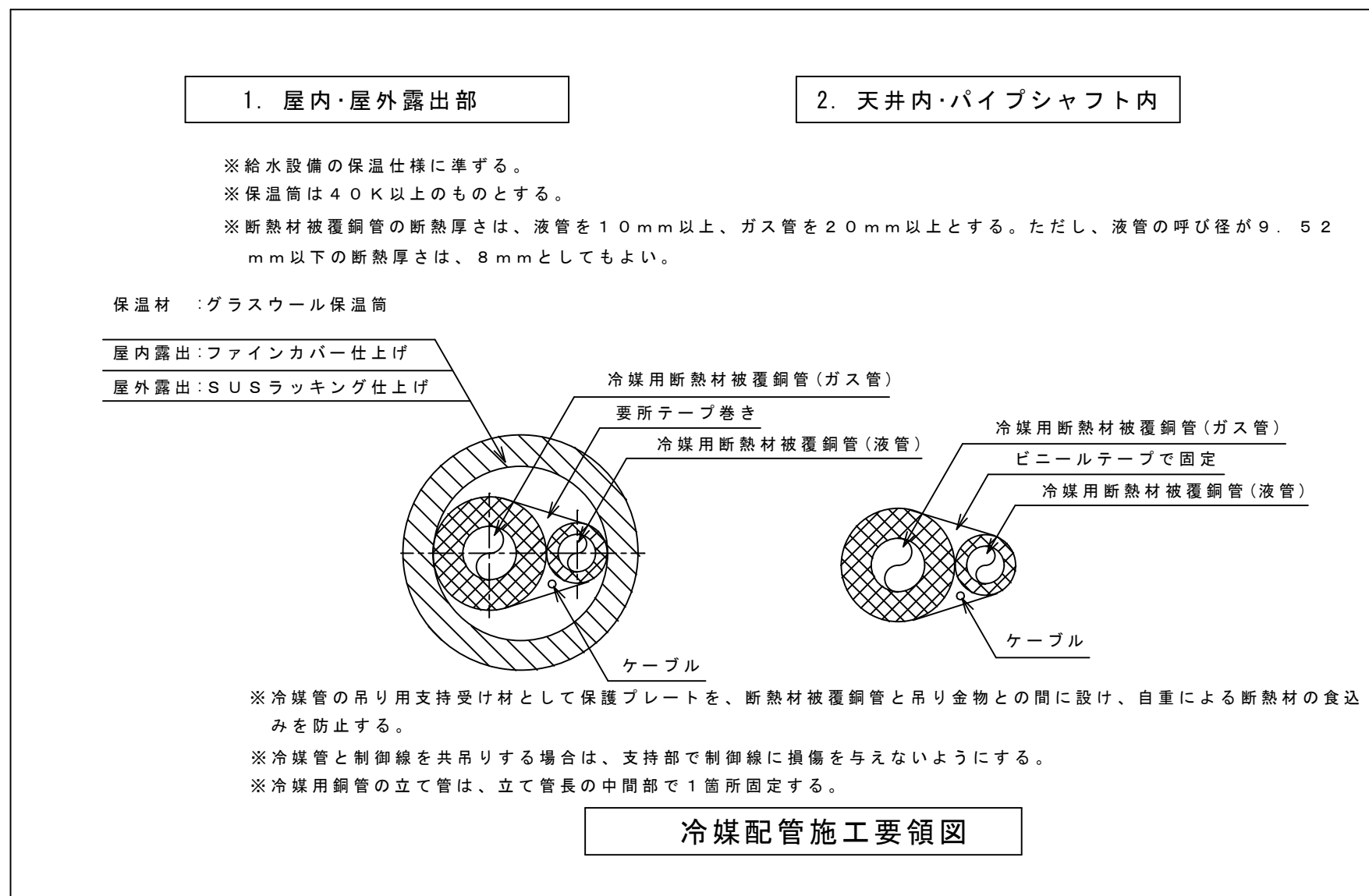


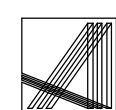
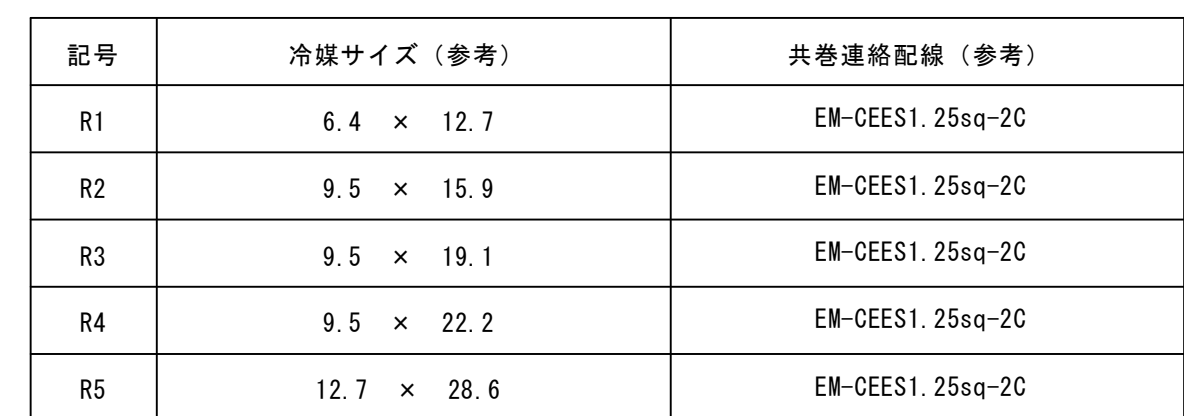


空調換気機器類リスト（改修）								
記号	名称	仕様	電源 60HZ		台数	室内機設置場所	室外機設置場所	備考（参考品番）
			φ-V	KW				
BMA-1	ビル用マルチ室外機	型式 床置形 冷房出力 45.0kw 暖房出力 50.0kw 冷媒種別 R410A 防振架台共	3-200 CONP FAN(内) FAN(外)	13.7×1 0.66×2	1		受水槽置場	RXYP450FC （ダイキン工業）
BMA1-1	ビル用マルチ室内機	型式 天吊形 冷房出力 11.2kw 暖房出力 12.5kw 冷媒種別 R410A 付属品 ワイヤードリモコン 防球ガード 集中リモコン	1-200 CONP FAN(内) FAN(外) φ-V	0.150 KW	4	体育館		FXYHP112NB （ダイキン工業）
BMA-2	ビル用マルチ室外機	型式 床置形 冷房出力 45.0kw 暖房出力 50.0kw 冷媒種別 R410A 防振架台共	3-200 CONP FAN(内) FAN(外)	13.7×1 0.66×2	1		受水槽置場	RXYP450FC （ダイキン工業）
BMA2-1	ビル用マルチ室内機	型式 天吊形 冷房出力 11.2kw 暖房出力 12.5kw 冷媒種別 R410A 付属品 ワイヤードリモコン 防球ガード 集中リモコン	1-200 CONP FAN(内) FAN(外)	0.150 	4	体育館		FXYHP112NB （ダイキン工業）
FF-1	エアー搬送ファン	型式 天吊形 風量：2020m3/h ワイヤードリモコン その他付属品一式 防球ガード	1-100	0.151	8	体育館		AH-3009SA-SC （三菱電機）

空調換気機器類リスト（撤去）							
記号	名称	仕様	電源 60HZ		台数	設置場所	備考
			φ-V	KW			
AC-1	ルームエアコン	型式 壁掛形 冷房出力 暖房出力 冷媒種別	1-100		1	体育職員室	
F-1	標準換気扇	型式 低騒音形 風量 900m3/h 付属品 ユニタリーカバー共	1-100		2	男子便所 女子便所	
F-2	スレートファン	型式 低騒音形 風量 付属品	1-100		1	体育職員室	

記号	名称	仕様	電源 60HZ		台数	設置場所	備考（参考品番）
			ϕ -V	KW			
EF-1	標準換気扇	型式 低騒音形 風量 900m3/h 付属品 ヲzガ'-加'-共	1-100	0.0305	2	男子便所 女子便所	EX-30EK9-C (三菱電機)
EF-2	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 140m3/h×40Pa 付属品 深形フー'D・他付属品共	1-100	0.0155	2	男子更衣室 女子更衣室	VD-15Z13 (三菱電機)
EF-3	天井埋込換気扇	型式 低騒音形 風量 450m3/h×80Pa 付属品 深形フー'D・他付属品共	1-100	0.082	1	器具庫	VD-23Z13 (三菱電機)
HEX-1	全熱交換機	型式 天井埋込形 低騒音形 風量 180m3/h×200Pa 付属品 リモコン リモコンは電気工事に支給取付は電気工事 他標準付属品一式 共	1-100	0.128	1	事務室	LGH-N25CX2 (三菱電機)



[illegible]

名 称	北部コミュニティセンター改修工事	
図面名称	縮 尺	1/
体育館 空調設備 1階平面図②(改修)		

図面 No.	M-26
--------	------

